

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2014-11-01

No. 59



株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所

<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 経済産業省: 「2014 年 IEC 東京大会」開催: 11 月 4 日~15 日	3
IEC: 規格解説: IEC 62368-1 規格第 2 版、2014 年 2 月に発行: 本規格の真の理解	3
IEC: 規格解説: CISPR 16-2-1 Ed. 3.0 (2014-02)ー伝導妨害の測定	5
IEC: IEC e-tech: 貯蔵ソリューションが再生可能エネルギーの中核をなす	8
IEC: 新規格リスト	10
ISO: 新規格リスト	13
国際テーマ: UNECE: 電気車両安全に関する非公式作業班の第二回進捗報告書	14
国際テーマ: UNECE: UN 規制 Reg. No. 78 中に Reg. No. 10 への相互参照を作成	16
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	17
USA: FCC: KDB: 機器のラベル表示: 電子ラベルの使用についてのガイダンス	19
USA: FCC: KDB: Part 15, 18: 30MHz 未満の放射妨害波測定: テストサイト要求事項	20
USA: FDA: 医療機器のサイバーセキュリティガイドラインをリリース	21
USA: DOT: 自動車電気制御システムの安全とセキュリティについてのコメント要求	21
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	22
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	23
USA: IEEE: 新規格リスト	24
カナダ: 官報通知 SMSE-016-14: RSS-199ーブロードバンド無線サービス (BRS) 機器	25
EU: CENELEC: R&TTE 指令 整合規格リスト EU 官報により発表 (2014/09/12)	27
EU: 整合規格リスト発行: 一般製品安全指令	29
EU: R&TTE: 受動 SWR メータに関する技術ガイダンスノート 19	29
EU: 玩具安全指令: 警告、情報、及び文書に対する 各国言語要求の一覧文書	30
EU: UNECE: 車輛認証分野での EU が同意した UNECE 規制の翻訳	31
EU: 医療機器に対するボーダライン及びクラス分けに関するマニュアル新版	32
EU: CENELEC: 新規格リスト	33
EU: ETSI: 新規格リスト	36
オーストラリア: 電気・電子デバイス等の供給者に対する電磁両立性要求、入手可能	37
ニュージーランド: 短距離デバイス: 一般使用者無線免許新版、公表	37
中国: CQC: 情報安全管理システムの認証規格の更新作業に関する公告	38
中国: CQC: コンピューター用モニター、デジタルテレビ受信機等の省エネ認証規格	38
中国: CQC: マイコン用スイッチング電源製品の新版省エネ認証技術規範等の実施	39
中国: CQC: ハードディスクビデオレコーダ、シュレッターの省エネ認証業務の開始	39
中国: CQC: コピー機、プリンター、ファックス等の新版エネルギー効率規格実施	40
中国: CQC: 電磁調理器製品の省エネ認証新版規格及び認証規則に関する通知	40
中国: 新規格リスト	41
台湾: 新規格リスト	41
韓国: エレベーターや医療機器電磁両立性技術基準改正 (案)	43
韓国: 電気用品安全管理法関係法令改正のお知らせ	43
総務省: 3.5GHz 帯 第 4 世代移動通信システム (LTE-Advanced) に関する規定が追加	44
総務省: 電波政策ビジョン懇談会 (第 12 回) での審議資料: 電波の安全性確保等	44
コスモス・コーポレーションからのご案内: 動電式振動試験装置導入のお知らせ	18
ちよっといっふく 小クイズコーナー IEC 62368-1 のセーフガードについて	26
コスモスからのご案内: 欧州 3 指令 (新低電圧指令、新 EMC 指令、新無線機機器指令)	
比較表販売のご案内	26
社長の独り言	45



IEC: 規格解説: IEC 62368-1 規格第 2 版、2014 年 2 月に発行: 本規格の真の理解

- IEC 62368-1 第 2 版が 2014 年 2 月に発行され、今年の 6 月 20 日には EN62368-1 : 2014 が発行された。
- この IEC 62368-1 は、Hazard Based Safety Engineering (HBSE)規格として 2010 年 1 月に第 1 版が発行されていたものが何度かの検討を経て、第 2 版として今年発行されたものである。この規格が一体、どのような規格なのかを今回、規格書の読者として感じたことを簡単に述べたい。

IEC: 規格解説: CISPR 16-2-1 Ed. 3.0 (2014-02)－伝導妨害の測定

- 本版は、前版に対し、大きな技術的変更が加えられ、新タイプの付随機器 (ancillary equipment) - 即ち CDNE - を使用する測定方法が追加された。
- 放射測定用結合減結合回路網(CDNE)を使用し、30MHz～300MHz における妨害波電圧測定を行う CDNE 法は、もともと照明器具の試験を対象として検討された暗室などの放射測定設備を要しない測定法である。

IEC: IEC e-tech: 貯蔵ソリューションが再生可能エネルギーの中核をなす

- 揚水発電 (TC 4 : 水力タービン) 又は各種充電式電池 (TC 21 : 二次セル及び電池) などの、特定の成熟 EES システムの IEC 国際規格は既に存在している。その他の EES システムに規格が必要なことから、IEC は 2012 年に、TC 120 : EES (電気エネルギー貯蔵) システム を設立した。この TC は、システムベースのアプローチを取ることでにより様々な EES 技術全てに対応できる国際規格の構築を、監督している。
- EES システムは、RE 統合の達成とスマートグリッドの拡大、そしてより効率性と信頼性の高い電力供給の達成において、重要な技術となる。IEC 国際規格はこれらの目標実現の中心となるものである。

国際テーマ: UNECE: 電気車両安全に関する非公式作業班の第二回進捗報告書

- UN GTR: 1998 協定 Agreement に基づく、UN グローバル技術規制
- 電気車両安全(EVS) に関する GTR 作成が計画されており、その GTR は、高圧電気安全、電気コネクタやインレットなどの電気部品、及びとりわけ可燃性の電解液を含む REESS を、適用範囲に含むものである。

USA: FCC: KDB: 機器のラベル表示: 電子ラベルの使用についてのガイダンス

- FCC OET ノレッジデータベース KDB より

EU: CENELEC: R&TTE 指令 整合規格リスト EU 官報により発表 (2014/09/12)

- “R&TTE 指令 1999/5/EC” の実施の枠組みにおける委員会通信が、2014/09/12 付け欧州連合の官報により、発行された。欧州整合化規格の参照番号とタイトルを記載した最新リストが掲載されている。本リストには、新規格 (又は、新修正版、又は、訂正版) が 28 件発表された。

EU: 玩具安全指令: 警告、情報及び文書に対する 各国言語要求の一覧文書

- この概観は、玩具安全指令 2009/48/EC の要求条項ごとに、まとめられ、国、要求される言語、並びに関連各国法制の参照に対し、表及びリストの形式で表示される。

社長の独り言

2014 年 10 月 21 日

濱口 張馬

台風 19 号が過ぎ去ってから、朝夕の冷え込みが辛くなってきましたね。私が、半袖 Y シャツで社内をうろつきますと、一部のスタッフから「えっ？」という反応をヒシヒシと感じます。時には、長袖持っていないのですかと突っ込みなのか、なんなのか……。これで風邪をひいて弱ったところを見られたらと思うと、何を言われるかわかりませんので、体調管理に注意していきたいと思います。

業務の話になりますが、当社は国内薬事法に基づく指定管理医療機器認証業務も行っております。「薬事法等の一部を改正する法律」が平成 26 年 11 月 25 日から施行されますが、施行に向けての調整作業に当社も参加しています。現段階では多くを公表することができませんが、施行後には改正内容の詳しい情報等を発信できるようにいたしますので、今しばらくお待ちください。

当社でのこれまでの薬事法審査において、申請者様から、弊社の要求事項確認に対して、引用される適合性基準(JIS)に無いとされる要求確認であるのご指摘をいただくことがございます。当社では、基準となる JIS には要求されていない内容ではあっても、リスクマネジメント対応も薬事法の要求であることから、JIS での評価が安全性担保の全てでは無いとの判断にて、考えられるリスクに対しての追加確認を行っています。

又、同じような製品の審査にて今まで要求されなかったのご指摘をいただく場合もございます。これらに関しても、市場での最新回収（改修）情報等から、申請者様の製品が類似している場合には、これまで確認が無かった内容であっても、申請者様の製品にて再検討いただくのが適切であるとの判断から、指摘させていただいております。最近では、子供によるボタン電池の誤飲が発生したとのことで、回収となった製品の情報が経産省や国民生活センター等から発信されております。こういった情報を基に、類似の構造だと見て取れる製品に関しては、提出いただきましたリスクマネジメントの資料を確認の際に、こういった検討が含まれていない場合は、今まで当社から指摘が無かったとしても、新たに申請者様に確認しています。当社ではこういった確認を認証機関としての過剰要求としては捉えていません。時にはこの確認のため審査が滞ることがございますが、良い物を早く市場にお届けするというお気持ちは、申請者様と同様に強く持っております。当社の審査にご理解いただき、数ある登録認証機関の中から、当社を選択頂ければ幸いです。

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国际機関、並びに、FCC UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション 業務推進部まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC& Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2014-11-01 (No. 59)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレイション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人: 濱口張馬

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2014 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。